

時代の变化に合わせた 「地域密着型かかりつけ薬局」をめざして

石井薬局



石井貞義代表取締役社長

石井薬局（横浜市保土ヶ谷区岡沢町、石井貞義代表取締役社長、045・331・2042、<http://www.ishii-kusuri.com>）

は、1970年に現代表の母が、保土ヶ谷区で調剤薬局を開業。現在、保土ヶ谷区内で4店舗の調剤薬局を営んでいる。

1991年に現代表である石井貞義氏が2代目代表取締役役に就任。創業以来、「お客様本位」「安全・安心」「信頼」「地域密着」「地域貢献」を同社の基本方針に掲げている。地域の中には祖父母から孫まで、3世代にわたり、「かかりつけ薬局」としてご利用される方もいる。また、お客様の服薬指導だけではなく、細かな相談についても、顧客特性データとして蓄積している。そして蓄積したデータは、

今回の相談時に役立てるとともに、従業員間でも情報共有されている。

従業員教育では、「どの世代でも話をしやすい雰囲気づくり」と「お客様の不安解消」をモットーにしている。石井薬局のSNS内で地域情報の発信をすることはもとより、健康に関する些細なことについても相談を承っている。最近の取組みでは、新型コロナウイルス感染症対策として、検温・消毒・換気のみならず、待ちスペースの適切な距離の確保を徹底、また、非接触決済として、キャッシュレス決済も取り入れている。

コロナ禍の今こそ、時代の变化に合わせた「地域密着型かかりつけ薬局」に相談してみているかがでしょうか。